

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
麻生情報ビジネス 専門学校北九州校		平成8年3月4日		富田 博之		〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目11番33号 (電話) 093-533-1133																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																						
文化・教養	文化教養専門課程	CGクリエイター科				平成28年文部科学省 告示第18号	-																						
学科の目的	高度な目標を見据え、クリエイティブ業界の業務に必要な知識と技術を習得し、将来業界人としてプロ意識を持ち、活躍できるマインドを持つ人材を育成する。																												
認定年月日	平成29年2月28日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
3年	昼間	2477	338	2139	0	0	0																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
60人 (3年生のみ在籍)	8人	0人		1人	11人	12人																							
学期制度	■前期: 4月1日から8月31日まで ■後期: 9月1日から3月31日まで				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期毎5段階にて評価 担当教員が定期試験、出席等の状況をもとに評価																							
長期休み	■夏 季: 8月1日～8月31日 ■冬 季: 12月23日～1月6日 ■春 季: 3月1日～3月31日				卒業・進級 条件	ア. 指定科目すべての修得 イ. 学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任および学科教員との個別ガイダンスの実施。 学科責任者との面談、三者面談の実施。				課外活動	■課外活動の種類 ボランティア等 ■サークル活動: 有																							
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) デザイン業界、クリエイティブ業界 ■就職指導内容 担任、就職担当職員により、キャリアデザイン、履歴書の作成、面接試験等についての指導、相談を行っている。 ■卒業生数 5 人 ■就職希望者数 4 人 ■就職者数 4 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 80 % ■その他 家事の手伝い: 1名 (令和 2 年度卒業者に関する 令和3年5月1日 時点の情報)				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定 3級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>Photoshop検定STD</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>Illustrator 検定STD</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 雑誌Pen編集部「未来のクリエイターwith Honda e」 プロジェクト「Honda e(ホンダイー)」がある未来の風景イラスト採用掲載(5点)				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	色彩検定 3級	③	5人	3人	Photoshop検定STD	③	5人	4人	Illustrator 検定STD	③	4人	4人				
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
色彩検定 3級	③	5人	3人																										
Photoshop検定STD	③	5人	4人																										
Illustrator 検定STD	③	4人	4人																										
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 令和2年5月1日時点において、在学者 13名 (令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者 13名 (令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学のための理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。学生の情報を教員間で共有しながらの検討会の実施。 学科責任者や保護者を含めての面談。ガイダンス記録による報告。				■中退率 0 %																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																												
当該学科の ホームページ URL	URL: https://asoiku.ac.jp/abkc/cg/																												

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学生の主な就職先であるクリエイティブ業界、デザイン業界においては、顧客が求めるデザインが出来る人材、企画、提案も含めた総合力を持った人材が求められている。そのような人材を育てる教育課程を編成するには、企業等との連携が不可欠である。そのため、本校では、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。

また、業界で仕事をされている兼任教員や、学生の就職先企業の方との意見交換を随時行う。さらに、インターンシップ先に評価表を書いていただいたり、就職先企業に対しお客様アンケートを実施したりすることにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。委員会では、以下に示す事項を審議する。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

教育課程編成委員会の意見は、主任等が主宰する各学科または各系のカリキュラム会議において検討し、カリキュラムの改善(授業科目の新設・改編や、授業方法の改善・工夫)などに行き届く限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
山口 拓也	産業経済局 企業支援・産学連携部 企業立地支援課 情報人材支援担当係長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	①
宮原 寿光	(株)RAID 代表取締役社長	令和2年10月1日～ 令和3年9月30日(1年)	③
上田 浩二	株式会社サークル・オブ・フレンズ 代表取締役	令和2年10月1日～ 令和3年9月30日(1年)	③
白石 和行	麻生情報ビジネス専門学校北九州校 教務部リーダー	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
八波 康裕	麻生情報ビジネス専門学校北九州校 教員	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年9月9日(水) 全体会 17:30-17:50 分科会 19:30~20:00

第2回 令和2年11月18日(水) 分科会 19:00~19:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員の方々よりデザイン業界の進化、特にWeb制作にかかわる進化のスピードが早いためその進化のスピードについていくためには常時専門分野についての勉強が必要とのご指摘を受けた。カリキュラム内のWebに関わる授業数が足りないという問題を解決する糸口として、年度末よりWebデザインの専門分野についての造詣が深く、また大手ECサイトにおけるデザイン立案及び制作、更新業務など現場経験が豊富な人材を登用。卒業制作、進級制作のWebデザインに関わる作品指導へも参加いただいた。次年度に向け継続して学生の教科指導、業務に携わっていただく予定。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針		
<p>企業等からのヒアリング及び卒業生を採用していただいている企業に対して実施している「お客様アンケート」の情報に基づき、現在デザイン業界で求められている人材像、技術を修得することが出来る授業を、企業との連携により実現する。</p> <p>また、企業の方から直接指導していただくことにより、企業が求めるレベルを知ることが出来、そのレベルと現在の実力のギャップから、今後各自が努力すべき方向性と量を認識させる。</p>		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容		
<p>※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記</p> <p>デザイン業界で求められている人材像、技術を知ることとを目的とした科目となるよう、企業から派遣される講師と本校教員とが授業開始前に、授業内容や授業方法、評価方法などについて打ち合わせを実施し決定する。また、評価基準についても学生が現在の自己のレベルを把握できる内容となるよう企業講師と協議して設定する。</p> <p>企業講師には、実際の授業にも適宜入っていただき、学生に業界の求めるレベルを認識させるためにアドバイスを行っていただく。</p>		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
進級制作Ⅰ	1年次に習得したデザイン制作の基礎技術を活かし、一つのまとまった制作物として形にして完成させる。企業の方から個々にアドバイスをいただき、実践的かつ専門的な能力を身に付けるための端緒を理解させる。	ナカムラタツヤデザインルーム
進級制作Ⅱ	2年次に習得したデザイン制作の応用技術を活かし、主に企画力に重点を置いて制作物を完成させる。企業の方から個々にアドバイスをいただき、より実践的で専門的に完成度の高い作品を制作する。	ナカムラタツヤデザインルーム
卒業制作A	3年までに学んだことの集大成とした作品制作を行う。2年次同様、企画の内容に重点を置くが、企業の方からアドバイスをいただき、より社会的なテーマや問題を取り上げ制作する。卒業制作Aでは企画書完成・制作までを行う。	ナカムラタツヤデザインルーム
卒業制作B	3年までに学んだことの集大成とした作品制作を行う。2年次同様、企画の内容に重点を置くが、企業の方からアドバイスをいただき、より社会的なテーマや問題を取り上げ制作する。卒業制作Bでは制作からプレゼンまでを行う。	ナカムラタツヤデザインルーム
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針		
<p>教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。</p>		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
<p>・研修名:「遠隔教育に関するノウハウ共有セミナー「デッサン」一部オンライン化の事例紹介」 (連携団体:一般社団法人全国専門学校情報教育協会) 期間:令和2年10月30日(金) 対象:教員1名(白石和行) 内容:年度前半に実践されたデッサンのオンライン授業についての事例紹介。コロナ禍以前は人体部分デッサン(手、足、自画像)を対面で実施していたが、対面での実施が困難となり、オンラインでの指導へ切り替え学生が自宅で学習できるよう描く対象、場の設定、カメラなどを駆使された指導内容の紹介。</p>		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
<p>・研修名:「学生指導に活かすコーチング 実践 編(事例:欠席しがち、やる気のない学生)」 (連携企業等:組織デザイン・ラボ) 期間:令和3年2月24日(水) 対象:教員1名(八波康裕) 内容:会話を重ねる事を通して、既に備わっている能力や可能性に気づかせ、更に必要な能力や経験を自主的に備えるよう促し、相手の自己実現を後押しするためのスキルについての紹介。</p>		

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 ・研修名「今更聞けない？ 誰にも聞けない！ PDFの話」(連携企業等：株式会社Too)
 期間：令和3年6月24日(木) 対象：教員1名(白石和行)
 内容：Officeデータやグラフィックに至るまでPDFはさまざまな場所で使われているが、そのやりとりが安全にスムーズに進められているかについては不安な部分が多い。またリモートワークなどでの管理業務の観点からもファイル管理の重要性が増している。デモンストレーションを交えての事例紹介など。

② 指導力の修得・向上のための研修等
 ・研修名：「相手も自分も活かす、個別対応力強化研修」(連携企業等：組織デザイン・ラボ)
 期間：令和4年2月16日(水) 対象：教員1名(八波康裕)
 内容：相手も自分も活かす個別対応力強化研修。相手を4つのコミュニケーションタイプに分け、タイプによって接し方を変えることでコミュニケーションを円滑にできる。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況
 委員と常に連携し協議を行い、意見交換を行っている。CGクリエイタ科においては、コロナ禍ではあったが、行政と連携した北九州高校生イラストコンテストを継続して本年度も実施。北九州市近郊を中心とし116名の作品応募があるなど社会的活動、地域貢献活動につながった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
堀 修	福岡県立小倉商業高等学校 校長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	高校関係者
野村 久美子	システムエンジニア科2年生の保護者	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	PTA
安部 久美子	地域住民代表	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	地域住民
西村 祥子	システムエンジニア科平成21年度卒業生	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	卒業生
三宅 康夫	(株)ラック 新規事業開発部グループリーダー	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
森田 良一	バリエントソフト(株) 代表取締役	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
河上 和弘	(株)ジーン 第一開発事業部 事業部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
宮原 寿光	(株)RAID 代表取締役社長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
上田 浩二	(株)サークル・オブ・フレンズ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員

伊藤 洋平	(株)パソナ安川ビジネススタッフ 小倉支店 営業課長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
木ノ下 五郎	北九州総合病院 事務部 次長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 (ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()) URL: https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abkc/2020/hvoka.pdf 公表時期: 令和2年10月30日			
--	--	--	--

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念(育成人材像)、教育目標、ASOの考え方、5つの特徴
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育力向上の取り組み、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、就職サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)、高等教育の修学支援制度(高等教育無償化)
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	グローバル教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法 (ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()) URL: https://asojuku.ac.jp/abkc/	
--	--

授業科目等の概要

(文化教養専門課程CGクリエイター科) 令和年3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		CG概論 I	CGデザイン制作のための基本的な知識の習得 CGクリエイター検定の受験対策	1後	45		○			○		○		
2	○		色彩演習 I-A	色彩についての基礎知識を演習を通じて学習する。 色彩検定3級の受験対策。	1前	45			○		○		○		
3	○		色彩演習 I-B	色彩についての基礎知識を演習を通じて学習する。 色彩検定2級の受験対策。	1後	15			○		○		○		
4	○		色彩演習 II	色彩についての基礎知識を演習を通じて学習する。 色彩検定2級の受験対策。	2前	45			○		○		○		
5	○		デザイン概論 I	デザインについての基本知識について学習する。	1前	45		○			○		○		
6	○		デザイン概論 II	デザイン概論 I を基本とし、デザインについての知識、歴史などについて学習する。	2後	20		○			○		○		
7	○		デッサン A	石膏像、静物などを鉛筆デッサンし、正確な描写力と観察力を養う。	1前	45			○		○		○		
8	○		デッサン B	石膏像、静物などを鉛筆デッサンし、正確な描写力と観察力を養う。	1後	45			○		○		○		
9	○		POP演習 I	レタリングを通じたタイポグラフィからPOP広告の知識と技術の基礎を習得する。	1後	20			○		○		○		
10	○		POP演習 II	1年次に習得した知識と技術を応用し、より実践的な課題制作を行う。	2前	20			○		○		○		
11	○		表現技法 I	主としてアナログ的な表現手法を通じ、課題制作を行う。	1後	20			○		○		○		
12	○		表現技法 II-A	表現技法 I を基本としクリエイティブな表現力を養うための課題制作を行う。	2前	20			○		○		○		
13	○		表現技法 II-B	表現技法 I を基本としクリエイティブな表現力を養うための課題制作を行う。	2後	20			○		○		○		

(文化教養専門課程CGクリエイター科) 令和年3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
14	○		表現技法Ⅲ-A	2年間で培ったクリエイティブな表現力を用いた課題制作を行う。	3前	45			○		○			○	
15	○		表現技法Ⅲ-B	2年間で培ったクリエイティブな表現力を用いた課題制作を行う。	3後	45			○		○			○	
16	○		CG演習Ⅰ-A	デザイン制作に不可欠なグラフィック用アプリケーションの知識と技術の基本を学習する。	1前	45			○		○				
17	○		CG演習Ⅰ-B	デザイン制作に不可欠なグラフィック用アプリケーションの知識と技術の基本を学習する。	1後	45			○		○				
18	○		CG演習Ⅱ-A	グラフィック用アプリケーションの基礎技術を応用し、課題制作を通じて実践していく。	2前	45			○		○				
19	○		CG演習Ⅱ-B	グラフィック用アプリケーションの基礎技術を応用し、課題制作を通じて実践していく。	2後	45			○		○				
20	○		CG演習Ⅲ-A	グラフィック用アプリケーションの基礎技術を応用し、課題制作を通じて実践していく。	3前	75			○		○				
21	○		CG演習Ⅲ-B	グラフィック用アプリケーションの基礎技術を応用し、課題制作を通じて実践していく。	3後	75			○		○				
22	○		CG応用演習 (映像表現) Ⅰ	映像表現に必要な基本技術の習得と課題制作、コンテスト出品など。	1後	20			○		○			○	
23	○		CG応用演習 (映像表現) Ⅱ-A	基本技術を応用しより完成度の高い作品制作を目指す。課題制作、コンテスト出品など。	2前	20			○		○			○	
24	○		CG応用演習 (映像表現) Ⅱ-B	基本技術を応用しより完成度の高い作品制作を目指す。課題制作、コンテスト出品など。	2後	20			○		○			○	
25	○		CG応用演習 (映像表現) Ⅲ-A	基本技術を応用しより完成度の高い作品制作を目指す。課題制作、コンテスト出品など。	3前	45			○		○			○	
26	○		CG応用演習 (映像表現) Ⅲ-A	基本技術を応用しより完成度の高い作品制作を目指す。課題制作、コンテスト出品など。	3後	45			○		○			○	
27	○		CG応用演習 (デジタル描画) Ⅰ-A	フォトショップなどグラフィックソフト、ペンタブレットなどのデジタル機材を用いた描画技法基本テクニック習得。	2前	20			○		○			○	

(文化教養専門課程CGクリエイター科) 令和年3年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
28	○			CG応用演習 (デジタル描画) I-B	フォトショップなどグラフィックソフト、ペンタブレットなどのデジタル機材を用いた描画技法基本テクニック習得。	2後	20			○		○				
29	○			CG応用演習 (デジタル描画) II-A	フォトショップなどグラフィックソフト、ペンタブレットなどのデジタル機材を用いた描画技法基本テクニック習得。	3前	45			○		○				
30	○			CG応用演習 (デジタル描画) II-B	フォトショップなどグラフィックソフト、ペンタブレットなどのデジタル機材を用いた描画技法基本テクニック習得。	3後	45			○		○				
31	○			デザイン応用演習(イラスト) I	イラスト表現のための基本テクニック習得。課題制作。	1後	20			○		○				
32	○			デザイン応用演習(イラスト) II-A	イラスト表現のための課題制作。応用表現の課題制作。コンテスト応募	2前	20			○		○				
33	○			デザイン応用演習(イラスト) II-B	イラスト表現のための課題制作。応用表現の課題制作。コンテスト応募	2後	20			○		○				
34	○			デザイン応用演習(イラスト) III-A	イラスト表現のための課題制作。応用表現の課題制作。コンテスト応募	3前	45			○		○				
35	○			デザイン応用演習(イラスト) III-B	イラスト表現のための課題制作。応用表現の課題制作。コンテスト応募	3後	45			○		○				
36	○			DTP演習 I-A	DTPに必要なアプリケーションの知識と技術の基本を学習する。	1前	45			○		○				
37	○			DTP演習 I-B	DTPに必要なアプリケーションの知識と技術の基本を学習する。	1後	45			○		○				
38	○			DTP演習 II	1年次の技術と知識を応用しDTPに関わる課題制作を行う。	2前	45			○		○				
39	○			デザインワーク演習 I	デザイン制作の現場に即した、実践的な知識、技術を学び、課題制作を行う。	1後	20			○		○				
40	○			デザインワーク演習 II-A	1年次の技術と知識を応用し、より実践的な課題制作を行う。	2前	20			○		○				
41	○			デザインワーク演習 II-B	1年次の技術と知識を応用し、より実践的な課題制作を行う。	2後	20			○		○				

(文化教養専門課程CGクリエイター科) 令和年3年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
42	○			デザインワーク応用演習	デザイン制作の現場に即した、実践的な知識、技術を活用し課題制作を行う。	3前	20			○		○				
43	○			Web基礎演習-A	Webの基本言語である、HTML、CSSの習得	1前	45			○		○				
44	○			Web基礎演習-B	Webの基本言語である、HTML、CSSの習得	1後	45			○		○				
45	○			Web応用演習-A	CMSの基本技術習得からポートフォリオサイト制作。およびWebクリエイター能力認定試験受験のための対策講座	2前	45			○		○				
46	○			Web応用演習-B	CMSの基本技術習得からポートフォリオサイト制作。およびWebクリエイター能力認定試験受験のための対策講座	2後	45			○		○				
47	○			デザイン応用演習Ⅱ-選択A	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	2前	20			○		○		○		
48	○			デザイン応用演習Ⅱ-選択B	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	2後	20			○		○		○		
49	○			デザイン応用演習Ⅲ-選択A	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	3前	20			○		○		○		
50	○			デザイン応用演習Ⅲ-選択B	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	3後	20			○		○		○		
51	○			Office演習A	WindowsOSの機能についての学習とWordやExcelといったアプリケーションの操作実習をおこなう。	1前	20			○		○				
52	○			Office演習B	MOS検定試験対策、Word、Excelを使った課題制作実習をおこなう。	1後	20			○		○				
53	○			作品プレゼンテーション演習Ⅰ-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	1前	16			○		○		○		
54	○			作品プレゼンテーション演習Ⅰ-B	進級制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	1後	16			○		○		○		
55	○			作品プレゼンテーション演習Ⅱ-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	2前	16			○		○		○		

(文化教養専門課程CGクリエイター科) 令和3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
56	○		作品プレゼンテーション演習Ⅱ-B	進級制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	2後	16			○		○		○	○	
57	○		作品プレゼンテーション演習Ⅲ-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	3前	16			○		○		○	○	
58	○		作品プレゼンテーション演習Ⅲ-B	卒業制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	3後	16			○		○		○	○	
59	○		デザイン制作演習Ⅰ	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習(1年次)	1前	40			○		○		○	○	
60	○		デザイン制作演習Ⅱ	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習(2年次)	2前	40			○		○		○	○	
61	○		デザイン制作演習Ⅲ	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習(3年次)	3前	45			○		○		○	○	
62	○		進級制作Ⅰ	1年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。	1後	76			○		○		○	○	
63	○		進級制作Ⅱ	2年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。	2後	76			○		○		○	○	
64	○		卒業制作A	3年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。企画書作成、調査、制作。	3後	30			○		○		○	○	

(文化教養専門課程CGクリエイター科) 令和年3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
65	○		卒業制作B	3年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。中間プレゼン、制作、プレゼン。	3後	76			○		○		○	○	
66	○		文章表現Ⅰ	就職活動で必要とされる国語力、作文制作力を養う。	1後	20			○		○			○	
67	○		文章表現Ⅱ	国語力、作文制作力に加えてビジネス文書作成術などについて学習する。	2前	20			○		○			○	
68	○		GCBⅠ	感謝心と思いやりの教育	1前	16			○		○				
69	○		GCBⅡ	志の教育	2後	16			○		○				
70	○		就職実務Ⅰ-A	就職ガイドブックを中心に使用し、就職活動へ向けての導入、指導。また自己分析により就職へのビジョンを導き出す。	2後	23			○		○				
71	○		就職実務Ⅰ-B	より具体的に就職活動に必要な心得、活動の進め方の指導。求職面接、就職行事などへ参加する。また履歴書の書き方や面接の練習を行う。	2後	23			○		○				
72	○		就職実務Ⅱ-A	就職試験対策として、学生への個別就職ガイダンス、面接練習を行う。	3前	30			○		○				
73	○		就職実務Ⅱ-B	就職試験対策として、学生への個別就職ガイダンス、面接練習を行う。	3後	30			○		○				
74	○		教養講座Ⅰ	就職試験対策してSPI対策、基礎教養講座を行う。	2後	20			○		○			○	
75	○		教養講座Ⅱ	就職試験対策してSPI対策、基礎教養講座の継続、応用。	3前	15			○		○			○	
76	○		マナー講座	社会人になるにあたってのマナーの基本を確認する。	3後	15			○		○			○	
合計					76	科目	2477 単位時間(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
ア. 各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 イ. 卒業基準検定を取得していること。 ウ. 学年の出席率が90%以上であること。 エ. 学生としてふさわしい生活態度であること。 上記を満たせない者は、他の検定資格、学習態度、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。 ※留年した者は、その学年の全科目を再履修しなければならない。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週